

2022年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース

アドバンスレッスン1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	西川進			実務経験	有	職種	ミュージシャン				

授業概要

編曲やトラック制作をする際の「フレーズの作り方」に関して学びます。発声法をマスターし、さまざまなジャンル、スタイルをこなせるヴォーカリストとしての幅をアップさせていきます。外部企業と提携し、楽曲制作に必要なジャンルや楽器の和声や旋律、音作りを生徒が主体的に考え、不明点を生徒自身で模索し、完成できるよう学習していきます。また、ミックスの知識を得ることでより本格的な音源に仕上げる方法を学習します。書籍「決定版 音楽理論ワークブック ポピュラー音楽を完全理解」を使用しながら、より高度な音楽理論を学び理解

到達目標

いかなるコード進行やリズムパターンにおいても、的確かつオリジナリティーのあるフレーズを構築出来ること。STEAM学習方針を取り入れ、創造の基盤となる総合的な知識や経験力を身につける。サウンドロゴやBGM、効果音を制作し、映像作品やゲーム等にも有効な作品制作技術を習得する。Rock、Pops、R&B、EDM、民族音楽、Jazz等様々な音楽ジャンル、国内外の名アレンジャーのサウンドスタイルについての知識を習得する。オーケストレーションに必要な基礎的な読譜力、記譜力、各使用楽器の音域や使用方法について学び、

授業方法

毎週違った「推薦曲」のフレージング分析。多種多様なコード進行、スケール、リズムパターンにおいてのフレーズ作りを、教室のDAWにて実際に体験してもらう。西川進オリジナル作品のシステムを使い、各楽器のフレージングのこつを学び、作品を完成させる。指定の楽曲を参考音源と楽譜をもとに、様々なジャンルやアレンジャーのサウンドスタイルを分析する。同時に、ゲーム音楽、J-POP双方のオリジナル作品を作曲し、オーケストレーションの手法を用い仕上げていく。各種弦楽器、管楽器、打楽器以外にも、現代におけるシンセサイザーなどの編

成績評価方法

試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

西川進オリジナル教材を使う。適時、講師より教材を配布する。ヘッドホン、6.3mmステレオ標準変換アダプター、SSDやUSBメモリ等の記録媒体を持参すること。また自身のPCを持ち込むことも可。書籍「決定版 音楽理論ワークブック ポピュラー音楽を完全理解」を使用する。各自、筆記用具やノートと共に持参すること

回数	授業計画
第1回	共通音フレーズで突っ切れるコード進行、そうでも無いコード進行。課題曲「stay with me」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。【ダンス】作曲家・クリエーターに求められるアレンジスキルについて。/記譜法の基礎。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。/楽曲の流通具合、人気のジャンル紹介。テーマに沿った楽曲イメージを調査しまとめる。団一の管理方法を学ぶ。/音部記号、音名 ワークブック 12~18
第2回	格好いい終わり方とは。課題曲「stay with me」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。【ブルース、カントリー ミュージック】の楽器編成やスケール、コードの研究。/弦楽器の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。楽曲制作01:必要な楽器の選別やジャンル、リズムやテンポといった楽曲の大まかな雰囲気をイメージする。音程度数、長短音程 ワークブック 19~30p
第3回	キラキラ感を何で出すか。課題曲「stay with me」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。【ブルース、カントリー ミュージック】のアレンジの実践。/金管楽器の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。楽曲制作02: 大まかな楽曲の全体像の把握、セクションをイメージする。楽曲の骨組みを考える。音程 完全、増減音程 ワークブック 19~30p

アドバンスレッスン1

第4回	その曲のキーを探るには。課題曲「stay with me」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[50~60年代ロックンロール]の楽器編成やスケール、コードの研究。/木管楽器の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。楽曲制作03：リズムパート（ドラムやベース）バターンをリファレンスし、再現したりアレンジして各自の楽曲に反映させる。音程 複音程、転回音程 ワークブック 19~30p
第5回	アコギフレーズ徹底研究。課題曲「stay with me」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[50~60年代ロックンロール]のアレンジの実践。/打楽器の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。楽曲制作04：曲の基本となるモチーフを考え、シンプルでわかりやすいフレーズを考える。音色も考慮する。調と音階 長音階と調号 ワークブック 31~46p
第6回	エレキフレーズ徹底研究。課題曲「夏本み」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ゴスペル、R&B、ファンク]の楽器編成やスケール、コードの研究。/編入楽器の理解。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。"楽曲制作05：ウワモノの入力。楽曲のキーやコード進行を考え入力する。" " 短音階と調号 ワークブック 31~46p
第7回	エフェクター徹底研究。課題曲「夏本み」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ゴスペル、R&B、ファンク]のアレンジの実践。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。楽曲制作06：制作を継続。全体のバランスを考えながら楽器の配置や演出を考える。" " 関係調と五度圏 ワークブック 31~46p
第8回	ギターアンプ徹底研究。課題曲「夏本み」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。まとめ。/マイクを使用した音声収録。中間確認。この段階でラフなデモ音源が完成できるよう制作を進める。書き出し音量とファイル形式について。Google classroomでの提出方法。コードの構成 3和音 ワークブック 48~68p
第9回	民族楽器フレーズ徹底研究。課題曲「夏本み」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ジャズの原型（ラグタイム、ニューオリンズジャズ）]の楽器編成やスケール、コードの研究。/音声を加えたサウンドロゴ制作。楽曲制作07：各楽器パートのブラッシュアップを行う。楽曲イメージに合わせた楽器の演奏方法を模索する。コードの構成 4和音 ワークブック 48~68p
第10回	ドラムの音色徹底研究。課題曲「夏本み」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ジャズの原型（ラグタイム、ニューオリンズジャズ）]のアレンジの実践。/音声を加えたサウンドロゴ制作。楽曲制作08：制作を継続。各楽器のパンニングを理解し配置する。空間系エフェクトを使用し臨場感を表現する。コードのまとめ ワークブック 48~68p
第11回	パーカッションの音色徹底研究。課題曲「コイン」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ビッグバンドジャズ]の楽器編成やスケール、コードの研究。/転回形を用いた和声の基礎。/Adobe Photoshopを作品制作に活用。楽曲制作09：ミキシング。リズム隊の音量バランスを考える。リファレンス検索。"EQとは。またその使用法。長音階上の和音 ワークブック 84~102p
第12回	オーケストラの楽器とフレーズ徹底研究。課題曲「コイン」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ビッグバンドジャズ]のアレンジの実践。/弦楽器の代表的奏法。/Adobe Illustratorを作品制作に活用。楽曲制作10：ミキシング。リズム隊に対するメインパートの音量バランス。またウワモノのバランスを考える。"コンプレッサー、チャンネルストリップとは。またその使用法。" " 主要和音 ワークブック 84~102p
第13回	オルガンの音色徹底研究。課題曲「コイン」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[プラスアレンジが使われている歌謡曲、J-pop]の楽器編成やスケール、コードの研究。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。楽曲制作11：ミキシング。リファレンスと比較し全体調整を行う。"オートメーションとは。" " 終止形 ワークブック 84~102p
第14回	ピアノの音色とエフェクト。課題曲「コイン」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[プラスアレンジが使われている歌謡曲、J-pop]のアレンジの実践。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。楽曲制作12：ミキシング。最終工程を行う。書き出し形式やファイル名について。"リミッター、マスター効果、ラウドネスについて。長調でのセカンダリードミナントコード ワークブック 132~139p
第15回	前期課題発表会プレゼンテーション、および、前期末試聴会を行い、ディスカッションを行う。楽曲提出。授業内発表とプレゼンテーション、前期のまとめ。長調でのセカンダリードミナントコード ワークブック 132~139p